

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-2	・計画的な土地利用の推進

	課	
主管課・係	建設課	都市計画係
	農林課	国土調査係
関係課・係	伊南総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①良好な街並みを形成することにより、活気に満ちたまちづくりを推進する。 ②道路や公園、宅地造成等の面的整備を一体的に実施することにより、土地の利用価値を高め、住みよい市街地形成を図る。 ③地籍の明確化を図ることにより、有効な土地利用を推進する。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①都市計画道路及び区画道路の整備延伸。 ②土地区画整理事業における仮換地指定率の増加。 ③国土調査事業における実施区域の増加。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 都市計画道路整備率</td> <td>%</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>※ 65.0</td> <td>80.1</td> </tr> <tr> <td>B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)</td> <td>%</td> <td>79.6</td> <td>79.9</td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>C 国土調査事業進捗率</td> <td>%</td> <td>13.1</td> <td>13.2</td> <td>13.2</td> <td>13.2</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 都市計画道路整備率	%	60.0	60.0	60.0	※ 65.0	80.1	B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)	%	79.6	79.9	81.7	83.0	81.7	C 国土調査事業進捗率	%	13.1	13.2	13.2	13.2	13.2	D							
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
	実績値	実績値		実績値	目標値	実績値																																			
A 都市計画道路整備率	%	60.0	60.0	60.0	※ 65.0	80.1																																			
B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)	%	79.6	79.9	81.7	83.0	81.7																																			
C 国土調査事業進捗率	%	13.1	13.2	13.2	13.2	13.2																																			
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ① 大きく上回った</td> <td>都市計画道路 鎌倉崎・松下線及び東荒井・風下線(田島バイパス)が竣工となったことから、目標数字を大きく上回った。</td> <td style="text-align: center;">▲</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>工事等が思うように進まず、次年度以降の仮換地の指定まで至らなかったため、前年度の数値と同じであった。</td> <td style="text-align: center;">▼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ① 大きく上回った	都市計画道路 鎌倉崎・松下線及び東荒井・風下線(田島バイパス)が竣工となったことから、目標数字を大きく上回った。	▲		B ④ 下回った	工事等が思うように進まず、次年度以降の仮換地の指定まで至らなかったため、前年度の数値と同じであった。	▼		C ③ ほぼ目標値どおり	補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。	○		D				<p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ① 大きく上回った	都市計画道路 鎌倉崎・松下線及び東荒井・風下線(田島バイパス)が竣工となったことから、目標数字を大きく上回った。	▲																																							
B ④ 下回った	工事等が思うように進まず、次年度以降の仮換地の指定まで至らなかったため、前年度の数値と同じであった。	▼																																							
C ③ ほぼ目標値どおり	補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。	○																																							
D																																									
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?</p>	<p>・戸別訪問による事業説明の実施。(土地区画整理事業) ・事業の有用性をまとめたビデオを活用した地元説明会の実施。(国土調査事業) ・地籍調査推進委員の設置。(国土調査事業)</p>																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>戸別訪問による事業説明の際に、権利者からの意見を聴取している。(土地区画整理事業)</p>																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <p>・戸別訪問により、事業に対する不信感や誤解等を払拭することができた。(土地区画整理事業) ・地籍調査推進委員の協力により、スムーズに事業が遂行している。(国土調査事業)</p> <p>《課題》</p> <p>・全国各地に権利者がいるため、交渉が難航するケースもある。(土地区画整理事業) ・事業に多大な費用を要するため財源の確保が課題となり、事業が長期となる。(土地区画整理事業) ・相続登記未了や、登記簿の住所と現住所が相違する場合があり、権利者の特定に時間を要する。(国土調査事業) ・調査区域ごとに事業費が変動するため財源の確保が課題となり、調査計画の変更の恐れがある。(国土調査事業)</p>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>効率的に業務を実施するため、設計等の業務を委託している。また、事業費についても、国庫補助や起債等有利な財源を確保し、資金面でも効率性を図っている。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>事業の長期化は権利者の世代交代等にもつながることから、交渉等が後戻りしないよう、事業の早期完了を目指す必要がある。</p>
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	国土調査事業	農林課	目的	土地行政の基礎資料作成及び地籍の明確化を図るため。		
			概要	田島地域では、一筆地調査をはじめとする現地調査、各種測量を実施した。		
			成果	権利の保全・明確化及び課税の適正化の促進が図られ、登記の精度が高まることにより、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に寄与した。		
		国土調査係	問題	町外権利者において、遠方であったり高齢であるなど、現地立ち会いが困難である。		
			対策	①継続 文書・電話等で連絡を行い、地元権利者の代理立ち会いをお願いしている。		
			事業費	9,189	7,176	14,782
02	土地区画整理事業	建設課	目的	幹線道路、区画道路、公園等の公共施設を整備することにより、宅地の利用増進と良好な市街地形成を図るため。		
			概要	道路築造や宅地造成、支障物件の移転等を実施した。		
			成果	施行区域内の面的整備が進み、住環境の改善が図られた。		
		都市計画係	問題	施行にかかる工事費の上昇に伴い、計画どおり事業を進めることが出来ない。また、雨水の排水処理等を考慮し、幹線道路の整備を優先させる必要がある。		
			対策	①継続 換地計画の見直しを行いながら、後原・丹藤線沿線を優先的に整備したい。		
			事業費	132,193	91,731	115,872
03			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			141,382	98,907	130,654	232,807